

平成23年度 事務事業評価シート

課名		環境課		リサイクル係		No	1		
大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)					
10	資源循環型社会のまちづくり	2	環境衛生の向上	1	一般廃棄物処理体制の充実				
事業名 ごみ箱設置支援事業									
予算費目	款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	2	清掃総務費
	細目	1	清掃総務費	細々目	1	清掃一般管理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)			( )			予算種別	継続	経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
大量消費・廃棄という経済社会システムの中で、資源やエネルギーを限りなく消費し、便利さや快適さを過度に求められてきた生活も今や大きな転換を迫られ、市民の意識も省資源・省エネルギー社会へと変わっている。地球規模で環境・資源問題を考えながら、現在の生活を見直し、身近なところから環境への負荷の少ない生活様式を普及するなど、省資源・リサイクル型の快適で文化的なライフスタイルを構築し		ごみ収納箱等を購入・製造または修繕した自治会に対して補助金を交付する。		ごみ収納箱等を購入・製造または修繕した自治会に対して補助金を交付することにより、街の美観や環境衛生保全の立場から生ごみ等を衛生的に集積する環境を整える。	
活動指標			成果指標		
①設置数			①設置数		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
45個		36個		80%	
目標値A(単位)		実績値B(単位)			
45個		36個			

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	補助金	900,000	695,768	財(源割内訳)	国庫支出金	( )	
					県支出金	( )	
					地方債	( )	
					その他	( )	
			一般財源		( )	900,000	695,768
合計		900,000	695,768	合計		900,000	695,768
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.2	1,256,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題		改善策	
ごみ収納箱等を購入・製造または修繕した自治会に対して補助金を交付しているが、金額に上限がある。		維持管理を含め、環境美化活動への苦情・相談等については、速やかに対応する。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A 計画どおり事業を進めることが適当		A 計画どおり事業を進めることが適当	
その他			

平成23年度 事務事業評価シート

課名		環境施設整備室		—		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	10	資源循環型社会のまちづくり	2	環境衛生の向上	1	一般廃棄物処理体制の充実			
事業名 一般廃棄物処理施設管理事業									
予算費目	款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	2	塵芥処理費
	細目	1	塵芥処理費	細々目	1	塵芥処理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 (廃棄物処理法)			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
市内で発生するごみの収集・運搬及び処理・処分は廃棄物処理法により市の固有業務となっている。市では直営及び委託により収集・運搬し、焼却施設、最終処分場等で処理・処分を行っている。		市内で発生するごみを適正に収集・運搬及び処理・処分し、もって生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。		ごみを計画的に収集するため、ごみカレンダーを作成するとともに、人員、車両等の体制整備を行う。適正な処理・処分を行うため、施設の適切な維持補修や運転管理を行う。可燃ごみは焼却、資源ごみは売却、焼却灰はセメント原料化、不燃物は埋立等の処理・処分を行う。	
活動指標			成果指標		
家庭から排出されるごみの処理・処分量			処理・処分率		成果指標の到達度(B/A)
目標値(単位)		実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	100 %
			18,754t	18,754t	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)	
支出内訳	需用費	72,727,000	74,209,173	財(源内合訳)	国庫支出金	( )		
	役務費	2,067,000	1,891,588		県支出金	( )		
	委託料	149,064,000	147,603,066		地方債	( )		
	公課費	1,753,000	1,647,900		その他	( )	121,438,000	131,481,198
	その他	277,000	250,668		一般財源	( )	104,450,000	94,121,197
合計		225,888,000	225,602,395	合計		225,888,000	225,602,395	
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)					
		0.7	4,228,700					

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題		改善策	
焼却施設の老朽化が著しく、維持補修や運転管理が困難になっている。車両の老朽化が進みトラブルが発生する。災害ごみを埋立処分したため、最終処分場の残余容量が減少した。		新ごみ処理施設建設を進める。車両の計画的更新を行う。焼却灰のセメント原料化により最終処分場の延命化を図る。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A 計画どおり事業を進めることが適当		A 計画どおり事業を進めることが適当	
その他			

平成23年度 事務事業評価シート

課名		環境施設整備室		—		No	2		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	10	資源循環型社会のまちづくり	2	環境衛生の向上	1	一般廃棄物処理体制の充実			
事業名	可燃物処理施設整備事業								
予算費目	款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	2	塵芥処理費
	細目	1	塵芥処理費	細々目	5	環境衛生センター整備事業費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務			(廃棄物処理法)		予算種別	継続	臨時

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
環境衛生センターは昭和57年度に稼働をした。平成8・9年度に基幹改修をした。老朽化が進み、機能維持のための改修工事が必要となっている。		環境衛生センターの機能を維持し、市内で発生する可燃ごみの安定的で安全な処理を行う。		精密機能検査の結果に基づき、必要な改修を行う。	
活動指標			成果指標		
改修工事の実施状況			予算執行率		成果指標の到達度(B/A)
目標値(単位)		実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	46 %
			42,000,000円	19,397,773円	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	工事請負費	42,000,000	19,397,773	財(源割内合訳)	国庫支出金( )		
					県支出金( )		
					地方債( )		
					その他( )		
					一般財源(100%)	42,000,000	19,397,773
合計		42,000,000	19,397,773	合計		42,000,000	19,397,773
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		1.2	7,249,200				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	C あまり目標を達成していない

4 ACTION

課題	改善策
平成26年度末で処理を終了するため、大規模な改修が困難になっている。	平成24年度に必要最小限の措置をし、平成25・26年度は軽微な維持補修に留める。

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成23年度 事務事業評価シート

課名		環境施設整備室		—		No	3		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	10	資源循環型社会のまちづくり	2	環境衛生の向上	1	一般廃棄物処理体制の充実			
事業名	焼却灰セメント原料化関連事業								
予算費目	款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	2	塵芥処理費
	細目	1	塵芥処理費	細々目	3	焼却灰セメント原料化関連事業費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務			(廃棄物処理法)		予算種別	継続	経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
焼却灰は埋立処分をしていたが、平成14年度に山口県が策定した「山口エコタウン基本構想」の中核プロジェクトの一つである「ごみ焼却灰セメント原料化」が事業化されたため、本市も参画した。		焼却灰をセメント原料化することにより、リサイクルの推進及び最終処分場の延命化に取り組む。		山口エコテックはごみ焼却灰等をセメント原料化するため有害物質を除去処理する事業所である、主灰は職員が、また飛灰は業者委託により山口エコテックまで搬送している。	
活動指標			成果指標		
焼却灰のセメント原料化量			原料化率		成果指標の到達度(B/A)
目標値(単位)	実績値(単位)		目標値A(単位)	実績値B(単位)	
			2,236t	473t	
					21%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	旅費	250,000	195,000	財(源割内訳)	国庫支出金	( )	
	需用費	774,000	695,711		県支出金	( )	
	役務費	36,000	35,620		地方債	( )	
	委託料	30,959,000	27,829,914		その他	( )	
	公課費	111,000	110,000		一般財源	(100%)	32,130,000
合計		32,130,000	28,866,245	合計		32,130,000	28,866,245
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.7	4,228,700				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	C あまり目標を達成していない

4 ACTION

課題	改善策
主灰は職員の収集体制の関係で全量搬送できない。	主灰を全量搬送するため業者委託をする。

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成23年度 事務事業評価シート

課名		環境施設整備室		—		No	4		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	10	資源循環型社会のまちづくり	2	環境衛生の向上	1	一般廃棄物処理体制の充実			
事業名	新ごみ処理施設整備事業								
予算費目	款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	2	塵芥処理費
	細目	1	塵芥処理費	細々目	5	環境衛生センター整備事業費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務			(廃棄物処理法)		予算種別	継続	臨時

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
平成21年度に環境衛生センターの精密機能検査を行った。この検査の総合所見で「施設の更新が望ましいと考えられる」とされたため、施設の建替えを行うこととなった。	循環型社会形成推進地域計画に基づき、また国の循環型社会形成交付金及び合併特例債を活用し、平成27年度稼働を目標に、新ごみ処理施設を建設する。	○平成21年度 地域計画策定・承認 ○平成22-24年度 計画支援事業、各種手続き ○平成24-26年度 建設工事		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
整備事業の実施状況		予算執行率		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	87 %
		26,706,000円	23,276,050円	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	報酬	78,000	74,000	財源(割内合訳)	国庫支出金	( )	
	旅費	0	63,200		県支出金	( )	
	委託料	26,628,000	23,138,850		地方債	( )	
					その他	( )	
			一般財源		(100%)	26,706,000	23,276,050
合計		26,706,000	23,276,050	合計		26,706,000	23,276,050
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		2	12,082,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
非常にタイトなスケジュールとなっている。	進捗管理の徹底を図る。

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成23年度 事務事業評価シート		課名	環境施設整備室		-	No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	10	資源循環型社会のまちづくり	2	環境衛生の向上	2	し尿処理体制の充実			
事業名	山陽浄化センターし尿処理事業								
予算費目	款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	3	し尿処理費
	細目	1	山陽浄化センターし尿処理費	細々目	1	山陽浄化センターし尿処理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務			(廃棄物処理法)		予算種別	継続	経常

## 1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
市内で発生するし尿及び浄化槽汚泥の収集・運搬及び処理・処分は廃棄物処理法により市の固有業務となっている。市では許可により収集・運搬し、し尿処理場で処理・処分を行っている。	山陽地区で発生するし尿及び浄化槽汚泥を適正に収集・運搬及び処理・処分し、もって生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。	許可業者が収集・運搬したし尿及び浄化槽汚泥を山陽浄化センターで処理・処分する。処理水は河川放流し、汚泥は乾燥させ農地還元する。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
し尿及び浄化槽汚泥の処理量		処理率		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	100%
		100%	100%	

## 2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	32,119,000	31,353,733	財源(割内訳)	国庫支出金	( )	
	役務費	84,000	78,885		県支出金	( )	
	委託料	12,165,840	11,697,400		地方債	( )	
					その他	( )	
			一般財源		(100%)	44,368,840	43,130,018
合計		44,368,840	43,130,018	合計		44,368,840	43,130,018
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.9	5,436,900				

## 3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

## 4 ACTION

課題	改善策
施設の老朽化が著しく、維持補修及び運転管理が困難になっている。	平成23年度で処理を終了する。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	

平成23年度 事務事業評価シート

課名		環境施設整備室		-		No	2		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	10	資源循環型社会のまちづくり	2	環境衛生の向上	2	し尿処理体制の充実			
事業名	小野田浄化センターし尿処理事業								
予算費目	款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	3	し尿処理費
	細目	2	小野田浄化センターし尿処理費	細々目	1	小野田浄化センターし尿処理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務			(廃棄物処理法)		予算種別	継続	経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順		
市内で発生するし尿及び浄化槽汚泥の収集・運搬及び処理・処分は廃棄物処理法により市の固有業務となっている。市では許可により収集・運搬し、し尿処理場で処理・処分を行っている。		小野田地区で発生するし尿及び浄化槽汚泥を適正に収集・運搬及び処理・処分し、もって生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。		許可業者が収集・運搬したし尿及び浄化槽汚泥を小野田浄化センターで処理・処分する。処理水は河川放流し、汚泥は脱水・焼却し、埋立処分する。		
活動指標			成果指標			
し尿及び浄化槽汚泥の処理量			処理率		成果指標の到達度(B/A)	
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)		実績値B(単位)
				25,586m <sup>3</sup>		25,586m <sup>3</sup>
						100%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	65,340,000	63,992,536	財(源割内訳)	国庫支出金	( )	
	役務費	123,000	155,203		県支出金	( )	
	委託料	45,661,000	46,433,677		地方債	( )	
	公課費	30,000	30,000		その他	( )	
	その他	155,000	18,000		一般財源	(100%)	111,309,000
合計		111,309,000	110,629,416	合計		111,309,000	110,629,416

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.8	4,832,800

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
平成24年度から山陽地区のし尿及び浄化槽汚泥を受け入れるため、施設及び受入態勢の整備が必要となる。	平成24年1月から山陽地区のし尿及び浄化槽汚泥を試行的に受け入れ、受入態勢のチェックを行う。基幹改修を計画的に実施する。

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成23年度 事務事業評価シート

課名		環境施設整備室		-		No	13		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	10	資源循環型社会のまちづくり	2	環境衛生の向上	2	し尿処理体制の充実			
事業名	小野田浄化センター基幹整備事業								
予算費目	款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	3	し尿処理費
	細目	2	小野田浄化センターし尿処理費	細々目	1	小野田浄化センターし尿処理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務			(廃棄物処理法)		予算種別	継続	臨時

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
平成20年度からし尿処理場を統合するため基幹改修を始めた。	小野田浄化センターは平成元年度に稼働した。今日まで大規模な改修は行っていないが、経年劣化以外は特に問題はない。このため、平成26年度まで施設の基本的な構造を維持しつつ、機能改善を行う。	精密機能検査の結果に基づき、設備の改良、交換等を行う。	
活動指標		成果指標	
改修工事の実施状況		予算執行率	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
		144,824,000円	88,178,000円
			成果指標の到達度(B/A)
			61%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)	
支出内訳	委託料	7,779,000	3,402,000	財(源割内訳)	国庫支出金	( )		
	工事請負費	137,045,000	84,776,000		県支出金	( )		
					地方債	(95%)	137,500,000	83,700,000
					その他	( )		
			一般財源		(5%)	7,324,000	4,478,000	
合計		144,824,000	88,178,000	合計		144,824,000	88,178,000	

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.7	4,228,700

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	C あまり目標を達成していない

4 ACTION

課題	改善策
処理工程を優先的に実施してきたため、その他の箇所の整備が遅れている。	処理工程の工事が概ね完了するため、その他工事について計画的に実施する。

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--



平成23年度 事務事業評価シート		課名	土木課		管理係	No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	10	資源循環型社会のまちづくり	2	環境衛生の向上	3	産業廃棄物処理対策の促進			
事業名	有帆緑地処分場管理事業								
予算費目	款	8	土木費	項	1	土木管理費	目	1	土木管理費
	細目	4	有帆緑地管理費	細々目	1	有帆緑地管理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ( )			予算種別	継続	経常		

## 1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
公共事業により発生する建設残土や産業廃棄物(がれき等)を適正に処理するための施設として、「有帆緑地処分場」が建設された。	公共事業により発生した建設残土等が適正に処理される。 また、施設周辺の環境が維持される。	処分場へ搬入される建設残土、産業廃棄物(がれき等)が受け入れ基準に適合していることを監視するとともに搬入量を管理する。 また、地下水や排水の水質を定期的に監視する。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
年間搬入量(建設残土等)		水質基準不適合件数		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	100 %
42,000トン	29,043トン	0件	0件	

## 2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	404,777	402,757	財(源割内合) 訳)	国庫支出金 ( )		
	役務費等	42,062	42,062		県支出金 ( )		
	委託料	210,000	210,000		地方債 ( )		
	使用料及び賃借料	1,353,000	1,352,256		その他 ( )		
	工事請負費	9,664,661	6,855,450		一般財源 ( )	11,674,500	8,862,525
合計	11,674,500	8,862,525	合計	11,674,500	8,862,525		
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		2.15	3,728,550				

## 3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

## 4 ACTION

課題	改善策
搬入状況に応じて、土堰堤の嵩上げ工事等が必要となっている。	必要に応じて工事費を確保する。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	殖生インターチェンジ法面復旧工事の建設残土 約23,400t が搬入される予定であったが、約4,900tを搬入した後、工程の都合により他の処分場に処分されたため、目標の搬入量が大幅に少なくなった。

平成23年度 事務事業評価シート

課名		環境課		生活衛生係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	10	資源循環型社会のまちづくり	2	環境衛生の向上	4	斎場・霊園の整備			
事業名	埋火葬関連事業								
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	3	環境衛生費
	細目	4	斎場管理運営費	細々目	1	斎場管理運営経費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		( )				予算種別	継続	経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
火葬業務は市の固有の事務であり、長期的に安定的な処理が求められている。火葬施設は老朽化しているため、更新を図り、快適で衛生的な生活環境を確保する。	火葬業務は市の固有の事務であり、長期的に安定的な処理が求められている。斎場の更新を図り、環境衛生の向上に努める	適切な火葬業務等を実施することにより、環境衛生の向上、環境美化の推進を図る。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
斎場施設等に係る苦情報告件数		老朽化した斎場の管理運営費		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	98 %
1件以内	1件	32,180千円	32,978千円	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	指定管理料	21,000,000	21,000,000	財源(割内訳)	国庫支出金	( )	
	工事費	4,872,000	4,137,000		県支出金	( )	
	修繕料	2,323,000	2,297,400		地方債	( )	
	管理運営費	4,783,000	4,746,166		その他	( )	
					一般財源	( )	32,978,000
合計		32,978,000	32,180,566	合計		32,978,000	32,180,566
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.55	3,454,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
・民間ノウハウの導入やコスト削減を目標に、指定管理者制度を導入しているが、施設面及び住民サービス面共に現状を維持していくことが、最重要課題である。 ・特に突発的な事例に対する柔軟な対応が要求される。(技術及び財政面)	・老朽化している施設面において、定期的な保守点検により修繕必要箇所の把握及び優先順位の位置づけが必要である。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	

平成23年度 事務事業評価シート

課名		環境課		生活衛生係		No	2		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	10	資源循環型社会のまちづくり	2	環境衛生の向上	4	斎場・霊園の整備			
事業名	霊園管理事業								
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	3	環境衛生費
	細目	3	霊園関連経費	細々目	1	小野田霊園管理運営経費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		( )				予算種別	継続	経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
墓地については、自治体・宗教法人・公益法人のみに経営許可が与えられているので、民間参入が出来ず、恒常的に墓地が不足している。	市民を対象に、公衆衛生の向上と公共福祉の増進を図るため、市営墓地の適正な管理を図る。また、計画的な墓地の整備を行うことで、やすらぎのある街づくりを目指す	・市営墓地の管理及び新たな墓地の整備 ・市営墓地使用料及び管理料徴収事務 ・新設墓地の申請補助事務		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
霊園内の草刈等整備費		市営墓地の適正な管理墓地(4カ所の墓地数)		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	99%
800千円	551千円	4,672基	4,642基	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	霊園管理運営費	800,000	678,300	財(源割内合訳)	国庫支出金	( )	
					県支出金	( )	
					地方債	( )	
					その他	( )	
					一般財源	( )	800,000
合計		800,000	678,300	合計		800,000	678,300
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.9	5,652,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
・3,200区画を超える小野田霊園の広大な敷地の維持管理。	・委託により、年間を通じて、公衆衛生(草木の伐採、ゴミ収集)を中心に維持管理が行えるように努める。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	B 事業の実施方法やコスト等について改善する検討が必要 市営墓地の適正な維持管理のため、年間を通じた業務委託を検討
その他	

平成23年度 事務事業評価シート

課名		環境課		リサイクル係		No	1		
大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)					
10	資源循環型社会のまちづくり	2	環境衛生の向上	5	環境美化の推進				
事業名 アダプトプログラム推進事業									
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	3	環境衛生費
	細目	2	環境衛生経費	細々目	1	環境衛生経費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)			( )			予算種別	継続	経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
旧小野田市では、市、市民、事業者が一体となって、地域の環境美化の促進や清潔なまちづくりを目的に、「空き缶等のポイ捨て禁止条例」を制定したが、大きな効果は上がらなかった。市民と行政とが相互に協力し、一体となった取り組みが求められていたところ、ふるさとづくり協議会からアダプトについての相談があり、平成14年5月から、市民、ふるさとづくり協議会及び市の三者が協力することで、この制度が始まった。		市民が行う公共施設の美化、保全等のボランティア活動を支援することにより、環境美化に対する市民意識の高揚を図るとともに、市民、ふるさとづくり協議会及び市が一体となった地域活動を推進することを目的とする。		活動者が行うボランティア活動に関して次の支援を行う。 ・ボランティア活動保険の加入手続 ・物品の支給(ごみ袋、清掃用具等) ・実施者名を記した表示板の設置 ・収集されたごみの処理	
活動指標			成果指標		
一年間のPR回数			一年間の活動団体増加数		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
最低2回		1回		50	
目標値A(単位)		実績値B(単位)		%	
2団体		1団体			

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	保険料	75,600	75,600	財(源割内訳)	国庫支出金	( )	
	需用費	110,000	76,280		県支出金	( )	
					地方債	( )	
					その他	( )	
			一般財源		( )	185,600	151,880
合計		185,600	151,880	合計		185,600	151,880
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.3	1,884,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題		改善策	
・ボランティア活動者の高齢化により活動を辞退する団体が出てきている。 ・場所によっては清掃活動をしてはまたすぐにポイ捨て等が行われることがあるので、そもそもポイ捨てが行われないような対策をとる必要がある。		・ホームページ・イベント等で活動状況をPRすることにより、市民に環境美化に対する意識を高めていく。 ・ポイ捨て等が頻繁に行われる場所については、ポイ捨て看板の設置やパトロールの強化等を行っていく。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A 計画どおり事業を進めることが適当		A 計画どおり事業を進めることが適当	
その他			

平成23年度 事務事業評価シート

課名		環境課		生活衛生係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	10	資源循環型社会のまちづくり	2	環境衛生の向上	5	環境美化の推進			
事業名	生活衛生向上事業								
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	3	環境衛生費
	細目	2	環境衛生経費	細々目	1	環境衛生経費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		( )				予算種別	継続	経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
市民が安心して生活が営めるよう衛生害虫の駆除方法を指導。また、災害時には病気が蔓延しないよう消毒を行い、公衆衛生を保つ必要がある。		公衆衛生の向上と公共福祉の増進を図る		そ族昆虫の駆除及び情報の提供、消毒作業、市が設置した公衆便所の管理、その他公衆衛生の向上のために業務を実施する。	
活動指標			成果指標		
公衆便所の清掃回数、そ族昆虫駆除回数			公衆便所清掃作業にかかる苦情件数		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
5回以上/月		5回/月		100	
目標値A(単位)		実績値B(単位)		%	
0件		0件		%	

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	物件費	1,407,000	1,274,059	財(源割内合訳)	国庫支出金 ( )		
	補助費等	1,035,000	817,471		県支出金 ( )		
					地方債 ( )		
					その他 ( )		
			一般財源 ( )		2,442,000	2,091,530	
合計		2,442,000	2,091,530	合計		2,442,000	2,091,530
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.15	942,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題		改善策	
高齢化による維持管理人の雇用確保が心配。		地域の方々とのコミュニケーションを図り、雇用の確保に努める	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A 計画どおり事業を進めることが適当		A 計画どおり事業を進めることが適当	
その他			

平成23年度 事務事業評価シート

課名		環境課		生活衛生係		No	2		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	10	資源循環型社会のまちづくり	2	環境衛生の向上	5	環境美化の推進			
事業名	放置自動車処理事業								
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	3	環境衛生費
	細目	2	環境衛生経費	細々目	1	環境衛生経費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ( )			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順			
公共の敷地内にある放置自動車の撤去及び処分に関する法律の整備を図るが、実際には個人の所有なので、それぞれ所有者の意識の向上が必要である。		公共の場所の美観及び機能を保持し、もって市民の快適な生活環境を確保する。		公共施設に放置された自動車を適正除去するための処理			
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)		
公共の場における放置自動車把握のためのパトロール			放置自動車の廃棄処理件数				
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)		実績値B(単位)	
1回/6ヶ月程度		1回/6ヶ月程度		0件		0	
100 %							

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	人件費	5,000	0	財(源割内訳)	国庫支出金 ( )		
					県支出金 ( )		
					地方債 ( )		
					その他 ( )		
					一般財源 ( )	5,000	0
合計		5,000	0	合計		5,000	0

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0	0

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
・市内公共場所における放置自動車の把握については、市民からの通報によるものが中心となるが、パトロールも実施。	・公共施設をかかえる担当課は、定期的な巡回が必要

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成23年度 事務事業評価シート

課名		環境課		生活衛生係		No	3		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	10	資源循環型社会のまちづくり	2	環境衛生の向上	5	環境美化の推進			
事業名	環境美化向上事業								
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	3	環境衛生費
	細目	2	環境衛生経費	細々目	1	環境衛生経費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		( )				予算種別	継続	経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順			
昨今の環境保全の意識の向上により、ごみの減量化や堆肥かと言った事業が進んでいるが、個人の意識に頼るものが多く、より一層の意識向上を図る必要がある。		環境衛生推進団体を支援することにより、公衆衛生の向上及び公共福祉の増進を図る		<ul style="list-style-type: none"> <li>環境衛生推進団体に対する補助</li> <li>環境衛生に対する苦情処理、情報提供</li> <li>その他、環境美化の向上のために行う業務</li> </ul>			
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)		
不法投棄のパトロール回数、海岸清掃実施回数			搬出ごみ処理量				
目標値(単位)		実績値(単位)		目標値A(単位)		実績値B(単位)	
年間2回以上実施		2回/年間		2tダンプ1台		2tダンプ2台	
100 %							

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	170,000	15,926	財(源割内合訳)	国庫支出金	( )	
	補助費等	468,000	468,000		県支出金	( )	
					地方債	( )	
					その他	( )	
			一般財源		( )	638,000	483,926
合計		638,000	483,926	合計		638,000	483,926
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.7	4,396,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
・単位自治会と直結している環境衛生推進協議会には、引き続き協力体制をお願いすべきである。	・現在行っているが、各地区への環境美化に対する看板等の設置をさらに増やし、意識向上に努めなければならない。

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成23年度 事務事業評価シート		課名	環境課	生活衛生係	No	4
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	10	資源循環型社会のまちづくり	2	環境衛生の向上	5	環境美化の推進
事業名	狂犬病予防・犬猫保護等関連事業					
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費
	目	1	野犬対策事業費	細々目	1	野犬対策事業費
事務区分(根拠法令)	( )				予算種別	継続 経常

## 1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
狂犬病は人間にも感染し、死亡率も高い病気で狂犬病予防法で犬には年1回の予防接種が義務付けられているが接種率は下降のみである。	狂犬病予防法第4条の登録事務。 狂犬病予防法第5条の注射済証の交付。 野犬対策、犬・猫の収容及び運搬。	狂犬病予防法による犬の登録及び注射。 動物の愛護及び管理に関する法律に基づき、動物の愛護と適正な飼養に関し、普及啓発を図るための広報活動等。 犬又は猫の引き取り、その他動物愛護及び管理に対する県の業務等への協力。	
活動指標		成果指標	
狂犬病予防集合注射の実施		予防注射実数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
7日	7日	4,097件	2,665件
			成果指標の到達度(B/A)
			65%

## 2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	88,000	87,500	財(源割内訳)	国庫支出金	( )	
	県動物保護管理協会費	47,000	47,000		県支出金	( )	
					地方債	( )	
					その他	( )	
			一般財源		( )	135,000	134,500
合計		135,000	134,500	合計		135,000	134,500
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.5	3,140,000				

## 3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	C あまり目標を達成していない

## 4 ACTION

課題	改善策
・狂犬病の発生、まん延、撲滅をすることにより、生活衛生の向上及び公共の福祉の増進を図る。	・犬の未登録(注射未実施)を減らし、犬の登録原簿の管理に努める。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	